シリコン樹脂

SILIKOPHEN® AC 900

用例

重要な利点

- 低粘性メトキシ官能性シリコーン樹脂
- 常温にて、触媒と加水分解/縮合反応で取り込まれる湿気による硬化
- 温度を掛け完全な硬化塗膜を得る際、低い発煙および低い臭気の発生

適性

水系	溶剤系
○	●

高固形物
●

○ 不適 ◐ 一部適する ● 適する

代表的な用途

- 工業設備向け熱安定性塗料
- 防食塗料
- オーブン、燃焼炉、工場配管、焼却炉

技術情報

有効成分量	Approx. 90 %
外観	透明から濁った色の液体（製品性能は濁りに影響されない）
納入形態	液体
溶剤	キシレン
粘度（25°C）	Approx. 130 mPas

溶解性

キシレン	ダワノールMPA
●	●

酢酸ブチル	シクロヘキサノン
●	●

○ 不溶 ◐ 一部溶解 ● 溶解

処方手順

- 最大650 °Cの耐熱性を継続的に得るために、メタリック顔料および特殊製剤を使用してください。
- 表面前処理:脱脂とショットブラストをお勧めします。
- アルコキシ官能性樹脂との併用では、溶剤にアルコールや水酸基を持つグリコールエステルを用いることはお勧めしません。
- 使用原料の水分率は、0.05%未満であるべき。

反応硬化条件

- バインダーは触媒と共存下で、常温で硬化します。
- 触媒（例、テトラ-n-ブチルチタネート:テトラ-N-グアニジン = 1:1）をバインダー固形分に対して0.5-5%添加を推奨する。触媒は（2液硬化では）塗装直前に添加すること。
- 常温で約12時間乾燥した後に強制乾燥が可能です。この架橋反応は、加水分解/縮合反応によって進行しますので、対流式オーブンなどの強制乾燥炉を使用する場合は、湿度がある空気中で行ってください。

取り扱いおよび貯蔵

- 未開封状態で保管されれば、製品は製造後24ヶ月安定です。
- （金属容器など）錫と接触すると安定性が短縮されます。また水分との接触はゲル化を起こします。

この文書に記した情報、技術等は、当社の現在における知識・経験に基づくものです。当 社はこれらの情報、技術等による第三者の知的財産権、特に特許権の侵害問題などについて、いかなる賠償責任または法的責任も負いません。特に、当社が記載する情報には製 品やサービスの構造・成分・仕組みは記載されず、また、記述内容は保証には該当しません。また、当社は技術の進歩または発展によりこれらの情報、技術等を変更する権利を有し ます。当社製品のユーザは納入された製品の検査・試験を入念に行う義務を負担します。この文書に記載される当社製品の機能について、適切な資格を持つエキスパートによる 検査を行い確認してください。この文書内の他社名の引用は、同社を推奨するものでも、類似する製品の使用可能性を否定するものでもありません

Evonik Operations GmbH | Goldschmidtstraße 100, 45127 Essen, Germany | Telefon +49 201 173-2222 Telefax +49 201 173-1939 | www.coating-additives.com

EVONIK
Leading Beyond Chemistry